

技術革新戦略ロードマップの構成

イノベーションを担う「研究開発体制の強化」

実証研究を通じて国民への還元を加速する

「社会還元加速プロジェクト」

特徴

- ・異分野技術融合
- ・官民協力、府省融合
- ・システム改革を伴う実証研究
- ・プロジェクトを一元的に推進するための体制

新技術の
社会への還元

政策課題に対応するため選択・集中的に実施する

「分野別の戦略的な研究開発ロードマップ」

～ 将来の日本の姿と戦略重点科学技術～

実証段階に到達する技術

新技術の
社会への還元

基礎・基盤的技術など(引き続き重点的に推進)

イノベーションの種を生み出す独創性の高い挑戦的な

「基礎研究」

- ・高い目標を掲げる意欲的で挑戦的な研究を支援
- ・若手の自立を支援し広い裾野を築く

私たちが目指す2025年の
日本の姿

生涯健康な社会

安全・安心な社会

多様な人生を送れる社会

世界的課題
解決に貢献する
社会

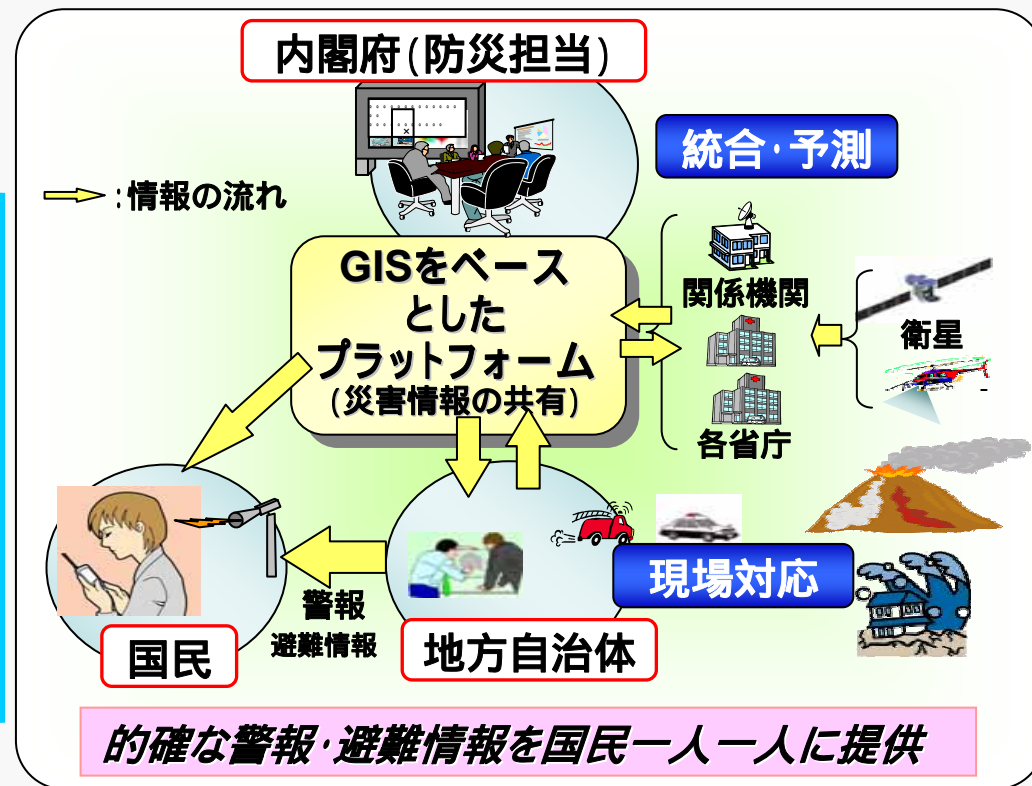
世界に開かれた
社会

技術革新戦略ロードマップの具体策

1. 社会還元加速プロジェクトの例 ～「安全・安心な社会」を目指して～

以下の技術開発、システム改革を行い、5年以内に
モデル地域を設定し、実証研究を行う。

- ・**災害・被害情報を1枚の地図に統合化**して一元的に
管理・共有できる新たな情報通信システムの構築
- ・**国民一人一人**に迅速に情報伝達可能な通信網と
情報端末の開発
- ・システムの標準化とルール作り 等



2. イノベーションを担う「研究開発体制の強化」

研究開発成果を民間に橋渡しする**研究開発独法**は、極めて重要な役割

改革の方向

- ・人件費削減に係る運用ルールの見直し 研究者の円滑な確保
- ・知的財産収入に基づく利益の全額を経営努力とみなし、目的積立金

分野別の戦略的な研究開発ロードマップ(例)

	分野	戦略重点科学技術の例	2010年頃の目標
1. 生涯健康な社会	ライフサイエンス	ITやナノテクノロジー等の活用による融合領域・革新的医療技術の研究開発	薬物等伝達システムを用いた治療法
2. 安全・安心な社会	情報通信	安全・安心のためのロボット	災害現場の情報収集ロボット
3. 多様な人生を送れる社会	社会基盤	建築物の効率的・効果的な用途転換・再生・活用	建築物の再生手法等の開発
4. 世界的課題解決に貢献する社会	エネルギー	太陽光発電の高効率化・低コスト化	太陽光発電及び太陽熱利用
5. 世界に開かれた社会	情報通信	多国間コミュニケーション	日常会話レベルの多言語音声認識・合成